

関東地方		取引先とのセキュリティに関する コミュニケーションツールとして SECURITY ACTION を活用 リカザイ株式会社
宣言タイプ	★	
業種	製造業	
従業員規模	21～50名	
業務のIT依存度	4	

きっかけ

ITコーディネータの紹介でSECURITY ACTION制度を知った。取引先の手企業（電機メーカー、自動車メーカーなど）からはセキュリティについて質問されることが多いため、同制度の活用が対応の一助になると考えた。



効果

- SECURITY ACTION宣言したことを取引先に発信し、自社の情報セキュリティに対する姿勢を客観的に示すことができた。
- コストがかからず手軽であり、これまでのセキュリティに関する自社の取り組みを変えることなく無理なく実践することができた。

工夫

- 経営会議を月一で開催することで、経営層と従業員の意識合わせを行い、セキュリティに関する取り組みの方向性や意思決定を円滑化している。
- セキュリティに関する注意点などをメールなどで発信するだけでなく、従業員の困りごとや日頃感じていることなどを積極的にヒアリングしている。

■ 企業紹介

1947年圧延理論を構想し、理論を実践して超極薄箔の製作を成し遂げ、以来、航空・宇宙、産業機械、半導体、電子電気産業などあらゆる分野に高品質の製品が採用されている。

実施者のコメント

■ 経営会議でセキュリティに関する議論

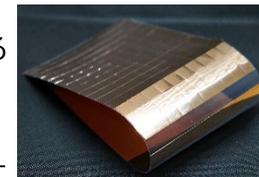


数年前から経営会議を開催しており、各部門長と社長が中心となって、経営方針を議論している。ITやセキュリティ投資などについても担当部門長が社長と個別に議論して判断するのではなく、各部門横串で検討する体制になったことで、権利や責任の所在が明確になり、OSのサポート切れに伴う移行問題やSECURITY ACTIONの取り組みなども早期に決裁することができた。

■ 圧延加工の在庫管理業務をIT化したい

金属の圧延加工は、一般的に在庫管理が非常に難しく、管理コストが大きい。そのため、加工や在庫管理の業務についてはITを使って見える化、効率化を図りたいと考えている。

その際、顧客情報や業務上の機密情報などに対するセキュリティ対策をきちんと実施する必要があるため、SECURITY ACTIONの基本的な対策については、引き続き全社一丸となって取り組む必要があると考えている。



対策のポイント

チェック

既に行っている自社のセキュリティに関する取り組みを「情報セキュリティ5か条」に照らし、きちんと対策できていることを確認。

宣言

SECURITY ACTION宣言を行ったことについて、社内だけでなく、取引先に向けても情報発信。

宣言後

まだまだ社員全員の意識が高いとは言えないため、従業員個人ごとの意識啓発への対策を検討。